

本所消防防災マガジン

～高めよう 確かな知識と みんなの意識～



HONJO

令和2年9月号 vol. 208号

9月9日は、救急の日

救急医療週間：9月6日（日）～9月12日（土）

《「救急の日」・「救急医療週間」とは》

救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に、毎年9月9日を「救急の日」、救急の日を含む一週間（日曜日から土曜日）を「救急医療週間」と定めています。

知っていますか？心肺蘇生とAEDの使い方

1 倒れている人をみたら…
声をかける!
両肩を軽くたたきながら
周りの人に119番に通報
AEDを要請
大声で助けを求めろ!

2 **呼吸を確認!**
10秒以内で胸と腹部の動きを見る!
正常な呼吸がない、不明な時は胸骨圧迫を!

3 **胸の真ん中を強く押す!**
胸骨圧迫を開始する前に、倒れている人の口と鼻にハンカチやタオル等があればおさめましょう
大人の場合
人工呼吸を行わず胸骨圧迫を続けます!
強く!早く!絶え間なく!
子供の場合
人工呼吸2回ためらう時は胸骨圧迫のみ続けます。
手元人工呼吸機(救命救急センター等)等がなければ
胸骨圧迫 30回
繰り返す

4 **AEDの電源を入れ案内に従う!**
AEDが自動解析して案内!

が命を繋ぐ。



まず行動 救える命 あなたから [令和2年度東京消防庁救急標語] 作者 岡本 純一さん (府中市在勤)

応急手当奨励制度 事業所や商店街、地域等において、救命講習に対する安全安心な取り組みを奨励する制度です。詳しくは、東京消防庁ホームページをご覧ください。

《救急車の適正な利用について》

東京消防庁における救急出動件数は、依然として増加し続けており、令和元年中の救急出動件数は825,929件と過去最大の件数となりました。

これは、1日およそ2,260件、救急車が約38秒に1回出動していることとなります（図1参照）。

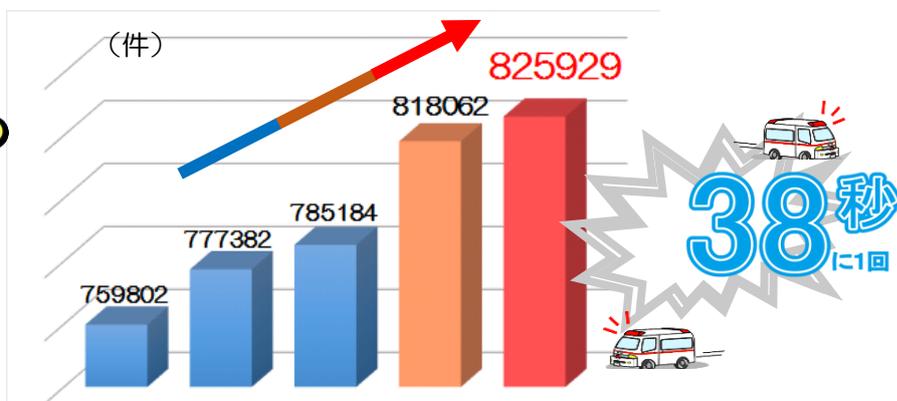


図1 年間救急出動件数（平成27年から令和元年）

「令和元年 消防に関する世論調査」より

119番通報の理由

生命の危険があったと思った（46.1%）

いっぽう・・・

- ・救急車でいくと優先的に診てもらえると思った
- ・海水浴で、日焼けした足がヒリヒリする
- ・紙で指先を切った。血は止まっているが...
- ・子供が膝を擦りむいた。歩けるが母親が心配して...

といった119番通報が実際にありました。

救急車は皆さんの医療資源であり、適正に利用していただくことが大切です。

病院へ行く？救急車を呼ぶ？迷ったら・・・

東京消防庁 救急相談センター「#7119」に、お問い合わせください

本所消防署災害状況
(令和2年8月31日現在)

火災 28件 焼損床面積 111m²
救助 193件 救急 5,949件

お問合せは

〔 警防課防災安全係 地域防災担当
電話 3622-0119 (内線323) 〕

詳しくはホームページへ

〔 東京消防庁 HP www.tfd.metro.tokyo.jp
署 HP www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-honjyo/index.html 〕